

教科名	科目名	単位数	年・組
芸術	美術 I	2	1年1. 5. 6. 8 9. 10. 11. 12組

使用教科書	副教材
高校生の美術 1 日本文教出版	なし

### 1. 学習の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化について理解を深め、豊かな情操を養う。
--

### 2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
主体的に表現、鑑賞に取り組む姿勢を重視します。	制作の過程を通して試行錯誤 創意工夫を積極的に行う。	表現の技能を身に付け自分らしさを創意工夫して創造的に表す。	美術作品や文化遺産などに親しみ感性や想像力を働かせて良さや美しさを理解する。

### 3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	鑑賞	肖像画と自画像 DVD鑑賞	制作に取り組む姿勢  自画像の提出  自然物のデッサン提出
	5	素描 自画像	人体の構造を理解し、鉛筆による明暗の調子で自画像を描く。プロポーションのバランスや光の方向を根気よく観察して丁寧に描く。また、自分自身と真剣に向き合い、自身の個性や人間性を表現する。	
	6 7	デザイン 平面構成	「自然物からの平面構成」の準備として「自然物のデッサン」を描く。モチーフとなる自然物を自由に選び自画像での経験を生かしてデッサンする。	
2	9	デザイン 平面構成	1学期に描いたデッサンをもとに「自然物からの平面構成」の構想を練り、作品のアイデアスケッチと下絵を描く。ポスターカラーで色彩計画に沿った彩色を進めて作品を完成させる。	制作に取り組む姿勢 アイデアスケッチ 作品の提出  下絵の提出
	10			
	11 12	粘土で作る 立体の自由制作	粘土で作る立体作品の準備として各自でモチーフの検討を行い作品の構想を練り、下絵を完成させる。	
3	1	粘土で作る 立体の自由制作	下絵をもとに作品の芯棒を制作し、石粉粘土を使用してモデリングを行う。粘土による造形の他、絵の具で彩色を施したり他の素材で装飾をしたりすることもできる。思い描いた作品のイメージを立体的に表現する。	制作に取り組む姿勢  作品の提出
	2			
	3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。